

機械器具 (22) 検眼用器具
管理医療機器 検査用コンタクトレンズ (JMDNコード : 34651010)
「HHVレンズ」「HHVコーツ」の付属品
VSLリング/VSLバンド

再使用禁止:VSL バンド(滅菌済み)

**【禁忌・禁止】

【VSLバンド】

1. 使用方法

- (1) 再使用禁止。
- (2) 再滅菌禁止。

- VSLバンドが眼瞼内側に巻き込まれないように注意しながら、開瞼器を使って開瞼して下さい。
- VSLリングの爪(フック)にVSLバンドを片方ずつ掛け、リングの中心がほぼ瞳孔中央にくるようVSLリングの位置を調整して下さい。



VSL-10



VSL-20



VSL-30

リング位置の調整は、VSLバンド上をスライドするか、リングの爪(フック)にVSLバンドを二重に掛けることで可能です。



VSL-10



VSL-20



VSL-30

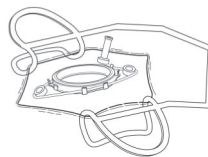
- VSLリング内にヒアルロン酸ナトリウム製剤又はコンドロイチン硫酸ナトリウム製剤等の眼科用粘弾性物質を滴下して下さい。
- 眼底観察部位に応じて観察用レンズを選択し、VSLリング内に装着して下さい。
- VSL-KリングとVSL-Kバンドを使用 (VSL-Kバンド1個をカニューラに掛けて使用する場合)

- 使用する前に、VSL-Kリングを洗浄、滅菌して下さい。

- 滅菌バッグからVSL-Kバンド1個を取り出し、VSL-KバンドをVSL-Kリングの爪(フック)の外側4箇所にかけて下さい。この際のVSL-Kリングの爪(フック)は、二種類ある爪(フック)のうち、Z型のものを使用して下さい。

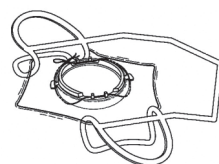


- カニューラを強膜上の内眼角側及び外眼角側に設置したのち、VSL-Kリングを角膜中央部に乗せて下さい。この際のカニューラは、長後毛様動脈及び神経の損傷を避けるため、3時及び9時からややずらした位置に設置して下さい。
- VSL-Kリングに掛っているVSL-Kバンドをセッシーでつかみ、内眼角側及び外眼角側のカニューラにそれぞれ掛けて下さい。
- リングの中心がほぼ瞳孔中央にくるようVSL-Kリングの位置を調整して下さい。
- VSL-Kリング内にヒアルロン酸ナトリウム製剤又はコンドロイチン硫酸ナトリウム製剤等の眼科用粘弾性物質を滴下して下さい。
- 眼底観察部位に応じて観察用レンズを選択し、VSL-Kリング内に装着して下さい。

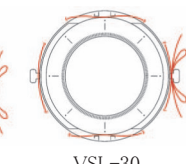


- リングを縫着(スーチャ)する場合

- 使用する前に、レンズ及び縫着可能なタイプのVSLリング (VSL-20、30)を洗浄、滅菌して下さい。
- 開瞼器を使って開瞼した後、VSLリングを縫着して下さい。



VSL-20



VSL-30

- 縫着したVSLリング内にヒアルロン酸ナトリウム製剤又はコンドロイチン硫酸ナトリウム製剤等の眼科用粘弾性物質を滴下して下さい。
- 眼底観察部位に応じて観察用レンズを選択し、VSLリング内に装着して下さい。

**【形状・構造及び原理等】

1. 形状

【VSLリング】



VSL-10

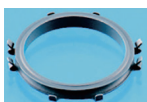


VSL-20



VSL-30

リング内径 約11.5mm



VSL-K

リング内径 約11.5mm

注)本書において、「VSL-Kリング」と記した場合は「VSLリング(VSL-K)」を意味する。

【VSLバンド】



VSL バンド 内径=6mm
太さ=0.5mm



VSL-K バンド 内径=12、13mm
太さ=0.3mm

2. 材質

【VSLリング】

ステンレス鋼

【VSLバンド】

シリコーンゴム

3. 原理

本品は、眼内観察時に検査用コンタクトレンズを角膜上で保持固定するために使用する。
レンズを保持固定する方法には、VSLリングを縫着しない場合と縫着する場合がある。縫着しない場合、開瞼器とリングの間にバンドを左右2箇所取り付け使用する方法と、カニューラとリングの間にバンドを1個取り付け使用する方法がある。

**【使用目的又は効果】

眼の前面に装着して眼内の状態を観察し、診断及び治療を支援すること。

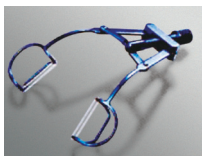
**【使用方法等】

① リングを縫着しない場合

- a) VSLリング (VSL-10、20、30)とVSLバンドを使用 (VSLバンドを開瞼器とリングの間に左右2箇所取り付け使用する場合)

- 1)使用する前に、レンズ及びVSLリングを洗浄、滅菌して下さい。

- 2)滅菌バッグからVSLバンド2個を取り出し、開瞼器の両鉤部に1個ずつ掛けて下さい。



**【使用上の注意】

【その他の注意】

- (1) VSLリング内からレンズの取り外しが困難な場合には、レンズ用セッシン等を使用して下さい。
- (2) VSL-Kリング以外のリングでは、縫着しない場合、大きく傾けた眼球に追従できません。このような場合には、VSL-20、30を縫着して使用するか、VSL-Kリングを使用して下さい。
- (3) VSLバンド及びVSL-Kバンドは開封後、無菌的に取り扱って下さい。
- (4) VSLバンドを開瞼器から取り外す際、VSLバンドが外れて、眼瞼裏側へ残置してしまうことのないよう、確認しながら操作して下さい。

**【保管方法及び有効期間等】

【VSLリング】

保管方法：

ご使用にならない場合は、洗浄・滅菌後、湿気の少ない場所へ保管して下さい。

耐用期間：

約1年〔自己認証(当社データ)による〕
(耐用年数は実際の使用条件により変わることがあります。)

【VSLバンド】

保管方法：

直射日光をさけ、なるべく涼しいところに保管して下さい。

有効期間：

使用期限は、外箱に記載されています。〔自己認証(当社データ)による〕
(上 4 桁は西暦、下 2 桁は月を示す。)

**【保守・点検に係る事項】

VSLリングは以下の方法で、洗浄・滅菌を行うこと。

【洗浄】

使用後は速やかに、リングの爪(フック)に強い力を掛けないよう注意しながら、水道水で洗って下さい。更に、手術器具用洗剤を使って洗浄した後、十分に水洗いをして下さい。

【滅菌】

以下の2つのいずれかの方法で滅菌して下さい。

(1) 高圧蒸気滅菌

使用前に十分に洗浄し、下記に示す滅菌条件等で滅菌を行なって下さい。

① 滅菌温度:134℃、滅菌時間:最低15分
又は

② 滅菌温度:121℃、滅菌時間:最低30分

(2) EOG滅菌

使用前に十分に洗浄し、レンズ表面に水分が残らないよう乾燥した後、下記条件を参考にEOG滅菌を行なって下さい。但し、滅菌時間や温度等の滅菌条件は、滅菌器の種類や包装材料等により異なるので、滅菌器の取扱説明書、各施設の滅菌手順等に従って下さい。
(推奨値)

温度 :45℃以上、湿度 :30%以上、
滅菌時間:90分以上、ガス濃度:410mg/L以上

リング洗浄・滅菌時の注意

- 1.リング購入後、初めて使用する前にも洗浄・滅菌を行なって下さい。
- 2.体液や血液の付着したリングは速やかに洗浄して下さい。

【主要文献及び文献請求先】

【主要文献】

Yasushi Ikuno, Masahito Ohji, Yasuo Tano, et al:
Sutureless Contact Lens Ring System During Vitrectomy.
Am J Ophthalmol 133:847-848, 2002

【文献請求先】

HOYA 株式会社メディカル事業部

〒164-8545 東京都中野区中野 4 丁目 10 番 2 号
中野セントラルパークサウス6F
電話番号 03-5913-2347

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

*【製造販売業者】

HOYA株式会社

【問い合わせ窓口】

HOYA 株式会社メディカル事業部

〒164-8545 東京都中野区中野4丁目10番2号
中野セントラルパークサウス6F
電話番号 03-5913-2343